

# Weekly Report

(2013年2月第4週)

光世証券株式会社

## 株式市場概況

### ● 先週（2/11 - 2/15）の動き

連休中に黒田アジア開発銀行総裁が、日銀の追加緩和策について発言したことから円安が進み、連休明けの日経平均は前週末比2%高の1万1300円で取引を開始した。その後、1万1400円台後半まで上昇する場面もあったものの、G7などで円安を牽制されるとの報道で徐々に円安に勢いがなくなり、株価も調整に転じた。それでも週初の上昇があったため、日経平均の前週末比は0.19%の1万1173円と小幅に高く、一週間の取引を終えた。

セクター動向の上昇トップは、決算発表の内容が良かったゴム製品となった。そのほかは医薬品、小売業、電気ガスなどのディフェンシブが上昇上位に入った。下落上位は、ここ最近の上昇が大きかった鉄鋼や海運、決算発表で下方修正が多かった建設などとなった。スタイルインデックスでは小型株の急落が目立つ。

セクター動向(先週末比)		各種国内株式指数動向(先週末比)					
ゴム製品	3.38%	鉄鋼	-5.08%	日経平均株価	0.19%	コア30	-1.72%
医薬品	1.74%	建設業	-4.53%	TOPIXグロース	-0.67%	TOPIXバリュー	-2.40%
陸運	0.72%	石油石炭	-4.13%	TOPIXL70	-0.72%	東証2部	-3.50%
電気ガス	0.42%	海運	-4.02%	REIT指数	-0.98%	TOPIXスモール	-3.67%
小売業	0.07%	その他金融	-3.76%	ミッド400	-1.46%	マザーズ	-6.14%
保険	-0.08%	輸送用機器	-3.58%	TOPIX	-1.56%		

### ● 各国の主要経済指標

日本のマネーストック（M2・1月・前年比）は2.7%（予想2.6%・前月2.6%）とほぼ予想通り。消費者態度指数（1月）は43.3（前39.2）と改善傾向。工作機械受注（1月・前年比）は-26.1%（前-27.5%）と低迷が継続。第三次産業活動指数（12月・前月比）は1.4%（予0.7%・前-0.3%→-0.4%）と大きく改善した。実質GDP（4Q・前期比年率）は-0.4%（予0.4%・前-3.5%→-3.8%）と予想を下回ったものの、前期比で大幅に改善し、景気の底打ちを印象付ける内容となった。GDPデフレーター（4Q・前年比）は-0.6%（予-0.6%・前-0.8%）と予想通りとなった。首都圏新規マンション販売（1月・前年比）は-5.4%（前-3.0%）と弱めの値となった。

米国の小売売上高（1月・前月比）は0.1%（予0.1%・前0.5%）となった。月次財政収支は28.8億ドル（予-20億・前-274.1億）と税収の増加により、5年ぶりの黒字となった。企業在庫（12月・前月比）は0.1%（予0.2%・前0.3%→0.2%）、新規失業保険申請件数（前週分）は34.1万（予36万・前36.6万→36.8万）と予想を大幅に下回った。

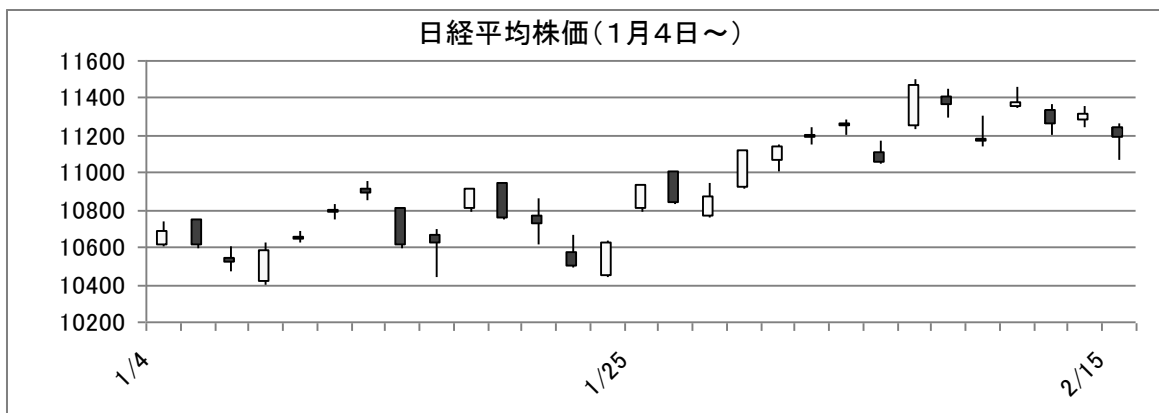
ユーロ圏のGDP（4Q・前期比）は-0.6%（予-0.4%・前-0.1%）と減速傾向が強まる内容となった。ドイツ、フランス、イタリアなどで予想を下回るマイナス成長となっており、注意が必要だ。

## 今後の注目材料

徐々に他国から円安が牽制され始めている。ここ10年くらいの範囲で見ると、それ程円安が進んだとはいえないが、短期的に20%近く減価しており、少々スピードが速すぎるため、調整が必要な局面だろう。それと共に株価の過熱感も強くなっており、株価も調整局面に入っている。

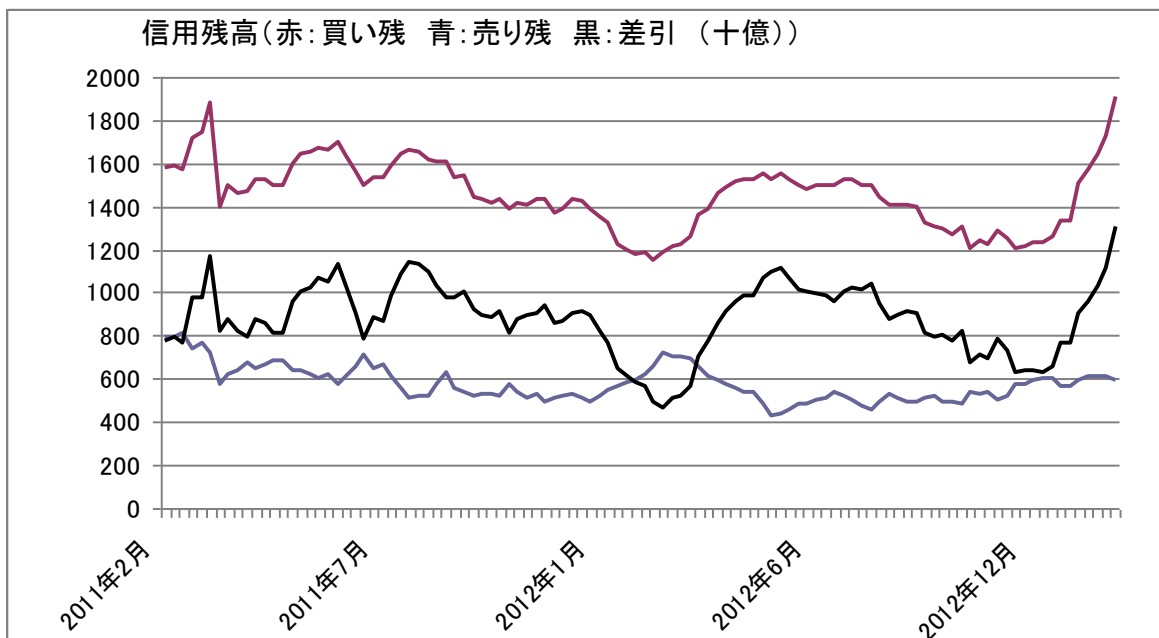
株価が再び上昇に転じるきっかけは、前週も述べたように、TPPの交渉参加が表明される、もしくは日銀の新たな総裁が決定され、追加緩和策への期待が高まる3月上旬から中旬となるだろう。

物色候補としては、TPP関連で輸入系の小売業や輸出企業、追加緩和策期待で不動産や金融関連が挙げられる。



## 株式市場の需給動向（前週分）

信用買い残高、裁定買い残高とも大幅に増加した。裁定買い残高は特殊要因があるものの、過去最高水準にまで増加、今後の動向が気にかかる。投資主体別売買動向では、海外投資家の買いの継続と国内の個人が買いに転換したことが目立つ。



	自己	委託	投資信託	事業法人	信託銀行	個人	海外投資家
2013/2/8	-127.42	123.03	-2.94	3.10	-108.77	129.48	150.68
2013/2/1	41.15	-31.57	-47.63	-10.19	-170.91	-114.36	382.07
2013/1/25	20.44	-29.78	-9.38	1.06	-161.35	-9.83	199.16
2013/1/18	82.21	-81.90	-36.73	-9.94	-164.53	-12.33	213.81
2013/1/11	22.39	-25.60	-42.79	3.54	-210.17	39.43	252.50
2013/1/4	-17.17	18.49	-17.64	-5.24	-42.12	-77.51	190.40
2012/12/28	100.71	-98.42	-15.73	-22.80	-240.39	-67.45	266.65

光世証券 小川 英幸

本資料は、情報提供のみを目的として作成したもので、いかなる有価証券等の売買の勧誘を目的としたものではありません。また、一般的あるいは特定の投資助言を行うものでもありません。本資料は、信頼できると判断した情報源から入手した情報・データ等をもとに作成しておりますが、これらの情報・データ等また本資料の内容の正確性、適時性、完全性等を保証するものではありません。情報が不完全な場合または要約されている場合もあります。本資料に掲載されたデータ・統計等のうち作成者・出所が明記されていないものは、当社により作成されたものです。本資料に掲載された見解や予測は、本資料作成時のものであり予告なしに変更されます。運用方針・資産配分等は、参考情報であり予告なしに変更されます。過去の実績は将来の成果を予測あるいは保証するものではありません。

光世証券株式会社 金融商品取引業者 近畿財務局長（金商）第14号  
加入協会／日本証券業協会